2026年9月
日本風力エネルギー株式会社　西山・出雲崎事業所

「(仮称)西山・出雲崎風力発電事業ホームページお問合せ 」ご質問・ご意見への回答

無断複製 転載 配布行為を禁止します

	質問者	ご質問・ご意見内容 （原文を転記）	ご回答
1	柏崎地 在住者	西山の長嶺大池は多数のハクチョウ類が飛来する場所ですが、ハクチョウ類について、風車予定地周辺での飛翔高度や飛翔経路をどのように把握・評価されていますか。 また、年間予測衝突数が『0ではない』とのことですが、ハクチョウ類について予測される衝突数と、その根拠を教えてください。 さらに、目玉模様・ブレード着色やバードソニックによって、ハクチョウ類への衝突リスクがどの程度低減すると見込んでいますか？ よろしくお願いいたします。	ハクチョウ類については、春季と秋季の渡り鳥調査時のデータとしており、飛翔する時間と個体数、対地高度、経路などを記録しており、風力発電機のブレード回転域となる高さを飛翔した個体数を利用して、年間予測衝突数を算出しました。各季で算出しており、大きな影響が考えられる計算結果には到っていないことを確認しています。 年間予測衝突数は春季、秋季共に「0」ではありませんが、稼動年数を20年間とした時、衝突する可能性は1羽未満の結果となっております。また、これまでに風力発電機に衝突したハクチョウ類の確認はないとの認識です。 今後は、鳥類への視認性を高める措置もしくは音により忌避させる措置などを検討しておりますが、衝突リスク低減の程度は現在実証中であり、今後も情報の収集を行い、効果のある環境保全措置を実施していくこととしています。